

# 魚に寄生して暮らす

北大総合博物館主催

土曜市民セミナー



## —ウオノエ科甲殻類の多様性

2024

3/9 土

13:30 ~ 15:00

講師

川西 亮太

総合博物館 北海道教育大学

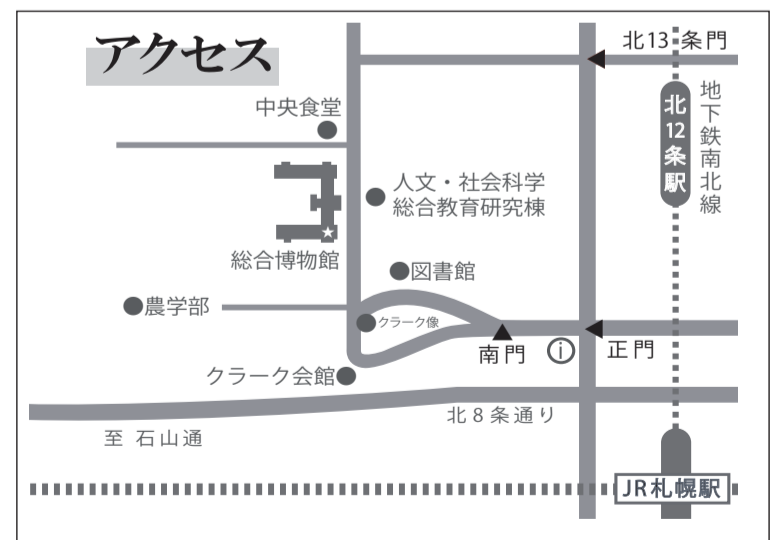
ウオノエを漢字で書くと「魚之餌」です。魚の口の中からよく見つかるので、昔は魚のエサ（餌）だと思われていたのかもしれませんが、ところが実際はその逆で、食べられているのは魚のほう。ウオノエ類は魚に寄生して暮らす甲殻類で、深海ブームで有名になったダイオウグソクムシやオオグソクムシが比較的近い仲間です。世界から360種以上が知られていますが、宿主となる魚の種類や魚のどこに寄生するかがそれぞれ決まっていて、形や色も多様です。今回は、そんな「かっこよくて愛くるしい寄生生物」ウオノエについて、最新の研究成果も交えながらご紹介します。

当日先着順・定員50名

入場無料

会場

北海道大学総合博物館 1階  
「知の交流」



お問合せ

TEL : 011-706-2658

HP : <http://www.museum.hokudai.ac.jp/>

主催：北海道大学総合博物館

